

1年 音楽科 シラバス

① ①中学校音楽の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽手的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中で音や音楽、音楽文化と豊かにかかわる資質・能力を次の通り育成することを目指す。

- (1) 曲想と音楽の構造などに関わり及び音楽の多様性唱について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌、器楽、創作の技能「を身に着けるようにする。
- (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながら良さや美しさを味わって聞けることができるようにする。
- (3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う

②西中学校1年生音楽科目目標

- 意欲的に活発に表現活動ができる。
- 音楽の楽しさを知り、音楽の美しさを感じることができる。
- 基礎的な表現の技能を身に付ける。
- 多様な音楽に興味・関心を持ち、生活を明るく豊かにする。

② 年間学習予定

	学習内容	学習のポイント
1 学 期	○校歌 ○「夢の世界を」 ○「My Voice」 ○「My Melody」 ○「主は冷たい土の中に」 ○鑑賞曲「春」 ○アルトリコーダーの基礎・ 運指練習 ○「Let's search for Tomorrow」 ○合唱コンクール自由曲選曲	・校歌をしっかりと覚え、西中学生の自覚を持つ。 ・新しいクラスのメンバーでのびのびと歌い合わせる。 ・姿勢、口形、発声の基本を踏まえ、響きのある歌声で表現する。 ・歌詞の内容やフレーズのまとまりを感じながら歌う。 ・バロック音楽にふれ、弦楽合奏の響きを味わう。 ・アルトリコーダーの基礎を学び簡単な曲を吹けるようにする。 ・パートの音を正確に歌い、バランスの良い合唱演奏をし、ハーモニーを味わう。 ・自分たちで歌う曲を歌詞・旋律・リズム等を聴いて、選曲する。
2 学	○「赤とんぼ」「浜辺の歌」 ○学年合唱曲 ○合唱コンクール 自由曲	・歌詞の情景を想像し、日本の歌の美しさを味わいながら歌う。 ・パート練習の内容を高め、合唱を作り上げる喜びを感じあう。 ・曲にふさわしい表現を工夫し、合唱曲を美しく歌い上げる喜びを味わう。

期	○合唱コンクールのまとめ	・合唱コンクールのまとめを通し、歌い合わせる喜び、発表を聴きあい、歌う楽しさを感じ取る。また、合唱の喜びを感じ、充実感を味わい、お互いの良さを認め合う。
3 学 期	○鑑賞曲「魔王」 ○雅楽「越天楽」 ○クラシックギターの基礎 ○合唱曲「旅立ちの日に」	・リートに触れ、独唱の良さを味わう。楽曲の要素や構造を理解し、曲想との関わりを感じ取る。 ・クラシックギターの基礎を学び簡単な曲を弾けるようにする。 ・3年生を送る会で3年生に送る気持ちを込めて歌う。 ・卒業式の門出を祝い、心を込めて歌う。

3 評価の観点

評価の観点	観点の内容	評価の方法
① 知識及び技能	曲想や音楽の構造を理解し、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱・器楽・創作の技能を身に付けるようにする。	表現活動時の様子を観察。表現活動のまとめの試験。筆記試験。
② 思考力、判断力、表現力	音楽表現を創意工夫することや音楽を自分なりに評価しながら良さや美しさを味わって聴くことができるようにする。	表現活動時の様子を観察。表現活動のまとめの試験。筆記試験。学習プリントの内容。楽譜に書かれた内容。
③主体的に学習に取り組む態度	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。	学習活動の観察。自己評価カード、プリントなどの提出物。授業中の発言。授業中の態度。筆記試験。

4 授業で力を入れてほしい事・授業での約束

(1) 表現の活動

- ♪歌唱
 - ・歌うことの基本（姿勢、口形、発声）を習得し、良く響く声で無理なく歌いましょう。
 - ・自分の声、友達の声聴きながら、相手に伝わるように歌いましょう。
- ♪器楽
 - ・リコーダーの運指をしっかりと覚えましょう。
 - ・難しいところはゆっくり繰り返し練習しましょう。
 - ・友達と協力し、他のパートを聴きながら演奏しましょう。
- ♪創作
 - ・イメージしたこと（リズム・メロディー）を自由に音で表現できるようにしましょう。

(2) 鑑賞の活動

- ♪聴くこと
 - ・落ち着いて心と耳を使って聴き自由にイメージしてみましょう。
 - ・感じたことや想像したことを自分の言葉で表現しましょう。
- ♪まとめること
 - ・音楽の特徴や作曲家などその曲の背景となるものを理解しながら聴きましょう。
 - ・学習プリントを自分なりにまとめましょう。

（３）創作の活動

- ♪取り組むこと
 - ・習った音の素材などを使い、音の重なりや反復、変化などの特徴を捉えましょう。
 - ・表したいイメージを持ち、音のつながり方を工夫しましょう。

（４）約束事

- ♪授業の回数が、４月から１０月までは、２週間に３回となります。その後は、週の１回の授業となります。毎回忘れ物をしないで参加するようにしましょう。
- ♪表現については、前回やったことを忘れがちです。見直すことが大切になります。また、次の授業まで忘れないように、毎回集中して授業を受けましょう。
- ♪音楽室では、とくに ” 耳 “ に注意して授業に臨むとよいでしょう。いろいろな音を聴きましょう。

2年 音楽科 シラバス

① ①中学校音楽の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽手的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中で音や音楽、音楽文化と豊かにかかわる資質・能力を次の通り育成することを目指す。

- (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。
- (2) 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながら良さや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- (3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るくする豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う

②西中学校2年生音楽科目標

- 主体的・意欲的な態度で創意工夫を生かした表現活動に取り組むことができる。
- 音楽の楽しさを知り、音楽文化に親しみ、音楽のよさ・美しさを感じることができる。
- 基礎的な表現の技能を身に付け、自分なりに工夫し表現することができる。
- 多様な音楽に興味・関心を持ち、生活を明るく豊かにする。

② 年間学習予定

	学習内容	学習のポイント
1 学 期	○翼をください ○アルトリコーダー「ラヴァーズコンチェルト」 ○「My Melody」 ○フーガト短調 ○夏の思い出 ○荒城の月 ○サンタルチア ○合唱コンクール自由曲選曲	・新しいクラスのメンバーでのびのびと歌い合わせる。 ・姿勢、口形、発声の基本を常に意識し、響きのある歌声で表現する。 ・アルトリコーダーで全体の響きを考えた表現を工夫し、演奏する。 ・示された和音進行に合わせて、旋律を作る。 ・パイプオルガンの音色や響きを感じ取り、フーガの技法を理解する ・歌詞の内容や言葉の持つ美しさを感じ取って表現工夫する。 ・イタリア語の持つ発音になれば、カンツォーネをのびやかに歌う。 ・自分たちで歌う曲を歌詞・旋律・リズム等を聴いて、選曲する。

2 学 期	○合唱コンクール 学年合唱曲・自由曲	・パート練習の内容を高め、合唱を作り上げる喜びを感じあう。 ・曲にふさわしい表現を工夫し、合唱曲を美しく歌い上げる喜びを味わう。
	○合唱コンクールのまとめ	・合唱コンクールのまとめを通し、歌い合わせる喜び、発表を聴き合う楽しさを感じ取る。また、合唱の喜びを感じ、充実感を味わい、お互いの良さを認め合う。
	○鑑賞曲「交響曲第5番ハ短調」	・オーケストラの豊かな表現を味わい、楽器の特徴をとらえ、響きを味わう。
3 学 期	○歌舞伎「勸進帳」 ○クラシックギターの基礎 ○三年生を送る会学年合唱曲 ○卒業式歌 「揚げば尊し」 「校歌」「国歌」	・日本の伝統音楽に親しみ、それぞれの声の出し方を比べてみる。 ・クラシックギターを曲にふさわしい奏法で演奏する。 ・3年生を送る会で気持ちを込めて歌う。 ・卒業式の門出を祝い、心を込めて歌う。

3 評価の観点

評価の観点	観点の内容	評価の方法
① 知識及び技能	曲想や音楽の構造を理解し、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱・器楽・創作の技能を身に付けるようにする。	表現活動時の様子を観察。表現活動のまとめの試験。筆記試験。
② 思考力、判断力、表現力	音楽表現を創意工夫すること。また音楽を自分なりに評価しながら良さや美しさを味わって聴くことができるようにする。	表現活動時の様子を観察。表現活動のまとめの試験。筆記試験。学習プリントの内容。楽譜に書かれた内容。
③主体的に学習に取り組む態度	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。	学習活動の観察。自己評価カード、プリントなどの提出物。授業中の発言。授業中の態度。筆記試験。

4 授業で力を入れてほしい事・授業での約束

(1) 表現の活動

- ♪歌唱
 - ・歌うことの基本（姿勢、口形、発声）を習得し、良く響く声で無理なく歌いましょう。
 - ・自分の声、友達の声聴きながら、相手に伝わるように歌いましょう。
- ♪器楽
 - ・リコーダーの運指をしっかりと覚えましょう。
 - ・難しいところはゆっくり繰り返し練習しましょう。
 - ・友達と協力し、他のパートを聴きながら演奏しましょう。
- ♪創作
 - ・イメージしたこと（リズム・メロディー）を自由に音で表現できるようにしましょう。

（２）鑑賞の活動

- ♪聴くこと
 - ・落ち着いて心と耳を使って聴き自由にイメージしてみましょう。
 - ・感じたことや想像したことを自分の言葉で表現しましょう。
- ♪まとめること
 - ・音楽の特徴や作曲者などその曲の背景となるものを理解しながら聴きましょう。
 - ・学習プリントを自分なりにまとめましょう。

（３）創作の活動

- ♪取り組むこと
 - ・習った音の素材などを使い、音の重なりや反復、変化などの特徴を捉えましょう。
 - ・表現したいイメージを持ち、音のつながり方を工夫しましょう。

（４）約束事

- ♪授業の回数が、週に１回となります。毎回忘れ物をしないで参加するようにしましょう。
- ♪表現については、前回やったことを忘れがちです。見直すことが大切になります。また、次の授業まで忘れないように、毎回集中して授業を受けましょう。
- ♪音楽室では、とくに ” 耳 “ に注意して授業に臨むとよいでしょう。いろいろな音を聴きましょう。

3年 音楽科 シラバス

1 ①中学校音楽の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽手的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中で音や音楽、音楽文化と豊かにかかわる資質・能力を次の通り育成することを目指す。

- (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。
- (2) 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながら良さや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- (3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るくする豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う

②西中学校3年生音楽科目標

- 主体的・意欲的な態度で、創意工夫を生かした表現活動に取り組むことができる。
- 音楽の楽しさを知り、音楽文化に親しみ、音楽のよさ・美しさを感じることができる。
- 基礎的な表現の技能を身に付け、自分なりに工夫し表現することができる。
- 多様な音楽に興味・関心を持ち、生活を明るく豊かにする。

2 年間学習予定

	学習内容	学習のポイント
1 学 期	○花 ○花の街 ○早春賦 ○「My Voice」 ○帰れソレントへ ○鑑賞「ブルタバ」 ○ポピュラー音楽 ○「My Melody」 ○星の世界 ○合唱コンクール自由曲選曲	・豊かな響きを意識し、声の音色やフレーズなどを工夫しよう。 ・詩の内容があらわす情景をイメージしながら歌おう。 ・ ・歌詞の内容や言葉の持つ美しさを感じ取って表現工夫する。 ・イタリア語の持つ発音になれば、カンツォーネをのびやかに歌う。 ・オーケストラの楽器の特性を理解し、作曲家の思いを読み取りながら聴こう。 ・さまざまな音楽の特徴とその背景を知ろう。 ・曲の構成を考えて、旋律を作ろう。 ・アルトリコーダーで声部の役割と全体の響きを考えた表現を工夫し、演奏する。 ・自分たちで歌う曲を歌詞・旋律・リズム等を聴いて、選曲する。
2	○大地讃頌 ○各クラス自由曲	・パート練習の内容を高め、合唱を作り上げる喜びを感じよう。 ・曲にふさわしい表現を工夫し、合唱曲を美しく歌い上げる喜びを味わう。

学 期	○合唱コンクールのまとめ ○鑑賞曲「巣鶴鈴慕」	・合唱コンクールのまとめを通し、歌い合わせる喜び、発表を聴きあう楽しさを感じ取る。また、合唱の喜びを感じ、充実感を味わい、お互いの良さを認め合う。 ・尺八の音色や響きを味わい、日本の伝統音楽に親しもう。
3 学 期	○クラシックギター ○「友」 ○卒業式歌 「仰げば尊し」 「校歌」「国歌」	・クラシックギターの奏法を学び、簡単なコード進行で弾こう。 ・思いや意図が伝わるように声の音色や強弱、フレーズを工夫して歌おう。 ・学年全体で豊かなハーモニーを作り上げよう。 ・卒業式の門出を胸に誓い、心を込めて歌おう。

3 評価の観点

評価の観点	観点の内容	評価の方法
①知識及び技能	曲想や音楽の構造を理解し、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱・器楽・創作の技能を身に付けるようにする。	表現活動時の様子を観察。表現活動のまとめの試験。筆記試験。
②思考力、判断力、表現力	音楽表現を創意工夫すること。また音楽を自分なりに評価しながら良さや美しさを味わって聴くことができるようにする。	表現活動時の様子を観察。表現活動のまとめの試験。筆記試験。学習プリントの内容。楽譜に書かれた内容。
③主体的に学習に取り組む態度	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。	学習活動の観察。自己評価カード、プリントなどの提出物。授業中の発言。授業中の態度。筆記試験。

4 授業で力を入れてほしい事・授業での約束

（１）表現の活動

- ♪歌唱
 - ・歌うことの基本（姿勢、口形、発声）を習得し、良く響く声で無理なく歌いましょう。
 - ・自分の声、友達の声聴きながら、相手に伝わるように歌いましょう。
- ♪器楽
 - ・リコーダーの運指をしっかりと覚えましょう。
 - ・難しいところはゆっくり繰り返し練習しましょう。
 - ・友達と協力し、他のパートを聴きながら演奏しましょう。
- ♪創作
 - ・イメージしたこと（リズム・メロディー）を自由に音で表現できるようにしましょう。

（２）鑑賞の活動

- ♪聴くこと
 - ・落ち着いて心と耳を使って聴き自由にイメージしてみましょう。
 - ・感じたことや想像したことを自分の言葉で表現しましょう。
- ♪まとめること
 - ・音楽の特徴や作曲者などその曲の背景となるものを理解しながら聴きましょう。
 - ・学習プリントを自分なりにまとめましょう。

（３）創作の活動

- ♪取り組むこと
 - ・習った音の素材などを使い、音の重なりや反復、変化などの特徴を捉えましょう。
 - ・表したいイメージを持ち、音のつながり方を工夫しましょう。

（４）約束事

- ♪授業の回数が、週に１回となります。毎回忘れ物をしないで参加するようにしましょう。
- ♪表現については、前回やったことを忘れがちです。見直すことが大切になります。また、次の授業まで忘れないように、毎回集中して授業を受けましょう。
- ♪音楽室では、とくに ” 耳 “ に注意して授業に臨むとよいでしょう。いろいろな音を聴きましょう。